



コルネリオ会

(キリスト者自衛隊員の会)

ニュースレタ No.98

2002年 3月

「軍人キリスト者」国際大会雑感(その一)

1 プロローグ

軍人キリスト者国際大会は英国 OCU (Officers Christian Union) が世界各国の軍人クリスチャン団体に呼びかけて大会を開いたのが初めである。しばらくは英国の OCU によって主催され、日本からも戦前に旧海軍の佐々木親大佐が招かれて参加したことがあった。戦後再開されて英国米国を中心に国際大会として大体4年に1回の割合に世界各地の会場で開かれた。これにコルネリオ会も招かれ有志が代表として参加していた。その後参加者が増えたので、1980年名称も AMCF (Association of Military Christian Fellowship) と変わり、現在は全体の世界大会の他に各地区でも国際大会が開かれることになった。アジア地区でもアジア各国の持ち回りで開かれてきたが、今年8月には日本での3回目のアジア大会が開かれることになった。聖書には「在留異国人を苦しめてはならない(出エジプト記22:22)」とあるので篤信のクリスチャンは他国からの客を厚くもてなす習慣がある。外国のホームステイには素晴らしい思い出がたくさんあるので、それらについて少し省みたい。

2 ワシントン DC

筆者が初めてこの大会に出席したのは1976年米国バージニア州 Massanetta Spring で行われた国際大会であった。成田を出発した飛行機が延着のため目的地のワシントン DC からかなり離れたバルチモアの空港に着いてしまった。その後が大変だったが、それでも当日のホームステイ予定の Mr. Holden が遠路車で迎えに来てくださったので滑り出しはやれやれということであった。Holden 兄は元空軍士官でその当時は法律

元コルネリオ会会長 工学博士 今井健次

関係の仕事をしており、Anapolice で海軍兵学校のクリスチャンの世話もしておられたので翌日はその兵学校を案内して頂いた。国際大会は祝福のうちに1週間の行程が終わった。その後は帰路公務で米軍施設を2箇所見学することになっていたのも、その途中何箇所か会員の方の家に泊めて頂くことになった。その事は出発前に大体決まっていたが、ただ大会の終了した夜の宿泊だけは決まっていなかった。そこで大会の終了の前の日に担当者に確かめたところ、明朝食事のときまでに決めるとの話なので、明朝食堂へ行ったら Bill Radd 少佐のいるテーブルの所へ連れて行かれた。そして今夜はこの方の家にお泊まりなさい、ということで、そこで初めて少佐夫妻にご挨拶して、お世話になることになった。大会が終了してから少佐の車に夫妻の家族6人と私と家内の合計8人を乗せてワシントン DC に向かった。少佐はペンタゴンに勤めているらしく、家は近くのアーリントン地区にあった。途中、夕方になったので少佐夫人が近くの店でローストチキンとりんごを買ってきて車に積んだ。それが今夜の夕食であった。家について泊まる部屋に案内して下さったが、それが主人夫妻の寝室であった。一番良い部屋で、部屋の調度はなかなか立派でベッドメイキングがすでにできていたが、テーブルの上には一握りの硬貨が投げ出している。多分ご主人が寝る前にポケットから出して置いたのだと思うと、この光景には好感を感じざるを得なかった。これが一宿一飯の恩義というものであろうか? 次の日の朝にはご主人はすでに出勤しておられたので親戚の人の車でワシントン DC まで送っていただいた。

3 Abadeen にて

ワシントン DC とニューヨークとの中間に Abadeen の町がある。そこには米陸軍の弾道研究所があり、そこを訪問見学することになっていた。そして、その OCU 会員の Newbrander 中尉の家に 2 泊させていただくことになった。バスを降りて電話をしたらご主人が迎えに来てくださった。お宅は 3LDK 位のマンションで結婚して間もない奥様との二人暮らしであった。家内が抹茶の道具を持って来ていたのでまずそれを紹介、カーペットの床に 4 人でちゃんと座って日本のお茶を楽しんだ。異郷で何とも優雅な感じで大いに歓迎された。聞くところではご主人の父君は宣教師で日本

にも居たことがあり、ご主人は日本で生まれたそうで、思いがけぬ所で思いがけない人の世話になったものだと、その恵みに感謝した。我々の寝室にはソファベッドが置いてあり、それをダブルにした訳だが、不便を忍んでここまでしてくださるとは感激の至りであった。次の日私はご主人に案内してもらって所長に会い研究施設や研究成果を学んでその日の仕事を終わった。夕方、近くの某大尉の家で聖書集会があるというので家内と一緒にそれに出席した。賛美があり、色々の証しがあり、皆古くからの友のような感じで、クリスチャンとは良いものだと思った。(続く)

事を行わせてくださる神

「神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。すべてのことをつぶやかず、疑わずに行いなさい。」

ピリピ人への手紙 2:13

1995 年 8 月 10 日～12 日に東京池袋で持たれた AMC F (Associate Military Christian Fellowship) アジア大会は私がクリスチャンになって初めての大規模な国際的クリスチャンの集会でした。海外から 159 名、国内から 96 名もの兄弟姉妹が集い、アジア地域の軍人クリスチャンが共に祈り会う機会を得たことは、同じ信仰を持つ、同じ職業の仲間として本当に幸いなことであったと思っています。

その当時、私はコルネリオ会会計の任を負っておりました。大会に必要な費用は大会参加費を除き約 500 万円と見積もられ、献金依頼を愛姉姉にお願いしていたのを思い出します。大会実行委員会の中には大会の運営費は大丈夫だろうかという不安がなかったわけはありませんが、「必要は主が満たして下さる」という信仰をもって準備を進めておりました。また、必要は資金だけでなく、大会期間中の通訳、賛美、接遇 etc と 40 名～50 名のボランティアが必要でした。こちらは準備を進める中で十分に集められました。「主の山には備えがある」とはまさにこのことだと思いました。

そのような中、資金は決して十分な状態ではなかつ

コルネリオ会 会員 圓林栄喜
たのですが大会が始まりました。大会終了後決算しますとなんと 180 万円の余剰金できていたのです。決算報告では大会費が 1360 万円にもなっていたことも驚きでした。「よくあれだけの大会をこの少ないメンバーで企画できたなあ」という驚きです。自分にはないものも、神は備えてくださいます。それは、神様が我々のうちに働き志を立てさせ、行わせてくださるからに他なりません。5 つのパンと 2 匹の魚で 5000 人の男子が満腹したように今の時代にあっても必要は満たされたのです。神様は生きておられ、我々をいつも守り導かれるお方であることを改めて確信しました。

さて、この大会での恵みはまだありました。その一つは大会間の素晴らしいメッセージ、賛美です。大切な時間を割いて日本に来ていただいた兄弟姉妹に霊的な感動がなければ意味がありません。そのために祈りが積み、大会期間中のメッセージ、賛美は神様が祝福して下さり、みんな熱心にメッセージに聞き入り、体全体で賛美していたのが非常に印象的でした。

もう一つの恵みは前の年に、アメリカのロッキーマウンテンハイというプログラムに参加した際に友達になった Don Snow、Jonie Snow 夫妻と再会できたことでした。1 週間あまりの旅行間、まるで息子のようにかわいがってくれ、言葉の壁を超えて、信仰の会話をしてくれた御夫妻との再会は私にとって大会前からの期

待の一つでありました。大会後も数日国内を案内させていただき、幸いな交わりの時を持たせてもらいました。

さらに、その当時在日米海軍の将校であった Brian German と友達になれたことです。彼は現在奥さんと共にアメリカの神学校で宣教師としての学びをしていますが、大会後何回か遊びに来てくれ、手紙のやりとりも続き素晴らしいクリスチャンの友人を神様は与えて

くださったことを感謝しています。

今年、再び大会が持たれる予定ですが、今回はどのような恵みを神様が準備しておられるのか本当に楽しみです。メッセージ、賛美とも大いに期待しています。皆さんも是非参加して共に恵みを頂きましょう！

そしてなによりもこの大会を通して、神様の御名が崇められ、大会が祝福されるようお祈りと協力を頂ければ幸いです。よろしく願い致します。

コルネリオ会と私

以前、私とコルネリオ会との関わりと言えば、年一度の修養会に出席することくらいでした。また個人的な事情もあって、積極的にコルネリオ会に協力したいという気持ちになれませんでした。

ところが昨年 6 月、私の心に変化が起こりました。その頃、主人が韓国の M C F (軍人キリスト者会)の聖会に李將軍からお招きを受け、私も同伴することになりました。

ソウル郊外の山中にある祈禱院で行なわれたその聖会で、15,000 人の兵士と関係者 3000 人が一同に会し、賛美し、御言葉を聴き、祈っておられる光景を目のあたりにし、その場に主がおられることを実感いたしました。

しかしその旅行中、私は別の意味で大変感銘を受けたことがありました。それは李將軍の夫人の謙虚なお姿でした。聖会中の李將軍のお働きを助け、私達ゲストを家に泊めるなどずっとお世話を下さり、行く先々では兄弟姉妹に励ましのお声を掛けておられました。それも実にさりげなくなさって、最後まで穏やかな優しい笑顔をくずされることはありませんでした。彼女はまさしく聖書にある「ふさわしい助け手」でした。

コルネリオ会 準会員 石川恵子

“何て素晴らしいクリスチャンでしょう。私も彼女のようにになりたい。でも、私には到底あんな風に立派にはできないわ。”などと私は心の中で自問自答しておりました。

帰国後、祈りの中で、神様は私に問いかけられました。「人のようでなく、あなた自身でできることはありませんか。例え小さな献げものであっても私はそれを祝福します。」と、5つのパンと2匹の魚(マタイ 14:19-21)の御言葉が迫ってきました。私は“はい、分りました。”と答えました。

それ以来、私はコルネリオ会の例会にも出席するようになりました。とても小さな奉仕ではありますが、今はコルネリオ会のためにお役に立てることを喜んでいきます。他の夫人の方たちも蔭のご奉仕や祈りによって、コルネリオ会や御主人達の尊いお働きを支えています。特に今年 8 月 15 日～17 日にはコルネリオ会主催の 2002 年「防衛関係キリスト者会」アジア大会が東京の市ヶ谷にて開催されますので、夫人たちもこの大会の成功のために心を一つにしますます熱い祈りを献げていきたいと願っております。

ACCTS スタッフ来日 (報告)

1 月 12 日(土)～16 日(水)に ACCTS(Association for Christian Conferences, Teaching & Service) のスタッフであるピアシー元海軍大佐、グラジャー元空軍少佐が来日されました。

12 日夕方成田到着、副会長の中野久永兄が出迎え私有車にてニューサンノホテルまで送り、ホテルにて

リック・ライリス大佐(座間キャンプ勤務中)ご夫妻と会われました。その時、ACCTS のスタッフとして日本地区連絡担当者米空軍中佐のマーク・ノーアーク兄(六本木勤務)を初めて紹介されました。

13 日(日)マーク兄とともにピアシー兄と、グラジャー兄は礼拝に行き、その後都内をまわられました。



コルネリオ会会食風景（ニューサンホテル）

（写真左から伊藤兄、テリー陸軍准尉、矢田部兄、ノーアーク空軍中佐、中野兄、グラジアー元空軍少佐、ピアシー元海軍大佐、フクダ先生、滝口兄）

14日（月）コルネリオ会による昼食会がニューサンホテルでもたれました。

15日（火）には防大聖書研究会に出いただき、15名の学生等にグラジアー元空軍少佐とピアシー元海軍大佐が救いの証しをして下さいました。横須賀で1泊され、翌日成田空港から台湾へ向かって出発されました。短い滞在でしたが、主にある交わりを感謝します。

なお、来日予定だった Snow 御夫妻は、奥様の Jonie 姉が体調を崩され入院中のため今回は来ることができませんでした。Jonie 姉の病の癒しの為にお祈り下さい。

1 月例会報告

2002年1月19日（土）1400～1600の間、市ヶ谷会館本館 4階会議室で今年最初の例会が開かれました。賛美、祈りの後聖書の学びが持たれ、使徒行伝第16章から、伊藤兄を通してパウロの獄中伝道、監守の心の変化などについて話がありました。

その後、参加者から我々は自衛官キリスト者としてどうあるべきか、神の御業の素晴らしさなどの感想、質問があり良い学びの時となりました。その後、アジア大会の打ち合わせなどがなされました。

出席者は以下の通りですが、日韓米豪の AMCF メンバーが共に一つの場所（市ヶ谷会館）に集められ、お互いにバイブルスタディー、祈りの時間を持ったのは、コルネリオ会歴史上初めてだと思われま。会が

ますます祝されますようお祈り下さい。

出席者：石川会長夫妻、金学根宣教師（韓国）、今井兄、矢田部兄、圓林兄、滝口兄、伊藤兄、マーク・ホーア 豪州大使館武官、マーク・ノーアーク在日米空軍中佐

会員近況

山本浩兄、木村亮一兄は空幕勤務となり現在平日は、帰宅時間は午前0時を過ぎるそうです。勤務多忙な様子です。山田伊智郎兄（陸幕PKO）は2月下旬から東チモールに行かれるそうです。愛兄方の健康が守られるよう、またご家族の上にも祝福をお祈り下さい。

献金感謝（2001.10.21～2002.1.24 現在）

今回も多くの愛する兄弟姉妹から尊い献金をいただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

玉井佐源太、ホーア大佐、足立順二郎、今井健次、安永稔、滝口巖太郎、飯塚正実、後藤茂光、柳沢二郎、加瀬典文、海野幹郎、圓林栄喜・さゆり、谷岡博志、瓜生弘一、飯塚正実、峯崎康忠、宮岡修二、矢田部稔、花井米男、下桑谷浩・玲子、太田正信、中川利行、広田具之（敬称略）（海外からの献金）

韓国軍人キリスト者会（KMCF）から2002年アジア大会のためにこれまでに3回、合計203,363円の献金がありました。熱い祈りとご支援を感謝致します。これからも、8月に行われるアジア大会の為に引き続き、ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

（祈りの課題）

2002年8月15日～17日に開催される「防衛関係キリスト者会アジア大会（グランドヒル市ヶ谷）」のために。

（月例会案内）

毎月1回、月例会を実施しています。当分の間、市ヶ谷会館本館4階で実施する予定です。詳しくは、中野久永兄 ji1cj@jarl.com TEL090-8559-8598 までお問い合わせ下さい。

皆様のご意見、ご感想をお待ちいたしております。匿名でも結構です。自由なご意見をお寄せ下さい。（編集子）

コルネリオ会広報室（JOCU）

〒306-0234

茨城県猿島郡総和町上辺見 1295-5 507

（発行責任者 圓林栄喜）

インターネットホームページ

<http://www.bekkoame.ne.jp/~hiyamamo/>

電子メール: User183066183@aol.com

献金

郵便振込口座 00130-3-87577 コルネリオ会

銀行振込口座 三井住友銀行 柏支店

普通 7425742 コルネリオ会